

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・アベノミクスの効果がまだまだ続く。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・このままの勢いであれば、過去最大の観光客数となりそうである。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・遷宮行事が7月から始まり10月に本番を迎えるので、参拝客はより一層増える。
		住関連専門店（営業担当）	・民間工事では、消費税増税前に戸建住宅やマンションを購入する動きに伴って新築、改修工事が出ている。公共工事でも、建築前の物件が出ており、これから予算執行とともに発注となる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・気持ちだけでも良くなると思いたい。しかし、商店街にある当店から周りの様子を見る限りは、良くなるようには感じない。地方の商店街は、あまりにも悲惨である。
		商店街（代表者）	・アベノミクスにより、自動車産業等での給与アップに伴う購買意欲や販売量の増加が期待できる。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・景況感がよくなる。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・これから梅雨に入り、体調不良や夏バテに伴う栄養補給等に期待している。株式市場も活況で、経済的な余裕ができた人も増えてくるので売上の増加が期待できる。栄養剤の売行きで、今後の景気の動きもわかってくる。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・大手企業を中心に給与増が言われている。中小企業も刺激を受けており、若干は上げざるを得ないのでは、というムードである。2～3か月先かボーナス時期までには一定の昇給が実現し、その頃には景気も持ち直す。
		百貨店（売場主任）	・給料支給日の時期に客へ買物理由を尋ねたところ、給料の支給とは関係なく、4月だから新しいものをという買物意欲のある人がいた。5月はゴールデンウィークに色々催しがあり、家族の来店を増やせるよう工夫している。景気は良くなっている。
		百貨店（売場主任）	・3月時点では、一過性で景気が戻る気配もあったが、客の財布のひもは、2か月続いて緩んできているため、もう少し続くと思う。
		百貨店（経理担当）	・円安・株高の恩恵が一般消費者にまで浸透しているとはまだ言い難いが、このまま持続していけば、夏の商戦に期待が持てる。
		百貨店（販売促進担当）	・株価大暴落や有事のような景況感を根底から変える事象が起こらない限り、この傾向は続くと思う。
		百貨店（販売担当）	・製造業が多い地域なので、このまま円安が続けばボーナスの増加が見込め、消費意欲の向上が期待できる。
		百貨店（営業企画担当）	・消費者の購買意欲の向上は感じられるものの、輸入品の値上げが始まっており、値上げの反動は大きく出ている。今後値上げが続く事で、消費者の購買意欲は少し下がるかと考えている。ただし、増税を控えており高額品の動きは良くなっていると考える。
		百貨店（販売担当）	・政府の施策が軌道に乗って所得や雇用が改善されれば、より幅広い所得層で購買意欲が向上する可能性が高い。加えて、消費税増税前の特需を見込んで考えると、相当高い確率で景気が大きく上向くと思われる。
		百貨店（経営企画担当）	・大企業を中心に夏季賞与の増加が見込まれる状況であり、消費意欲の向上とあいまって、消費拡大に寄与するのではないかと考えている。
		スーパー（経営者）	・3か月後には参議院選挙があり、現政権が過半数を占める。衆・参議院で政権が安定する事は、国内外にとって大事である。安定した政治のなかで、経済も良くなっていく。
		スーパー（経営者）	・当地では遷宮に向かって様々な行事が行われている。来客数の伸びに期待している。
		スーパー（店長）	・客1人当たりの買上点数も徐々に増えつつあり、これは当店に対するより良い評価の表れであると感じている。これが継続すれば、客数も更に増加すると思われる。
		スーパー（店員）	・経済に関する明るい話題がマスコミ等に取り上げられ、客からもそれに期待する雰囲気を感じつつある。ただし、4月13日の淡路島の地震に伴うレタスの高騰など、注視しなければいけない部分も多少ある。
		スーパー（総務担当）	・母の日の商品予約金額が、前年比べて若干増えている。
		スーパー（営業担当）	・消費マインドは高まってきている。
		スーパー（営業企画）	・食品は、景気の上げ下げの影響がいつも最後に出てくる。現在のアベノミクスによる好況感は、食品においてはまだ実績としては出ていないが、今後は徐々に現れると思う。

スーパー（商品開発担当）	・引き続きGMS（総合スーパー）中心に回復傾向が強まり、高額商品（高付加価値商品）や週末の消費が増える傾向を予想する。	
スーパー（支店長）	・ただただ、政治に期待している。	
コンビニ（企画担当）	・金回りが良くなるという雰囲気がある。報道の役割も大きいのではないかと。不安定な社会情勢や政情不安など嫌なニュースも多いなかでも、規制緩和など景気が良くなるという報道が必ず流れているというのが大きいのではないかと。実際の足元は変わっていないが、良くなる気がする。	
コンビニ（エリア担当）	・客の購買意欲は徐々に高まり、前年同月比100%を超えるのも近いと思う。	
コンビニ（店長）	・連休明け5月から本格的に始動し始める。気候も良くなり、人出も多くなるため、来客数や購買点数も増加すると期待している。	
衣料品専門店（販売企画担当）	・期待を込めて、良くなってきて欲しいと言う声が多い。	
乗用車販売店（経営者）	・ゴールデンウィーク後は、ボーナス商戦に向けて少しずつ購買意欲の向上が見込まれる。	
乗用車販売店（従業員）	・2か月くらいずっと、想定した計画よりも受注量が良い。このまま良くなるような感じがある。	
乗用車販売店（総務担当）	・取引先の声から、少しずつ仕事が増えている実感がある。	
乗用車販売店（販売担当）	・注文がたくさん貯まっており、車が届く2～3か月先までは、ある程度登録ができる。	
一般レストラン（従業員）	・来客数は、寒い時期よりも暑い時期の方が増える。	
観光型ホテル（経営者）	・前年同月に比べて、2～3か月先の宿泊予約は予約スピードが良くなっている。これからアベノミクスの効果で、消費がじわじわと上向く。	
都市型ホテル（支配人）	・景気改善を期待して大手企業が動き出している。外国人観光客も、原発事故発生後2年を経て、やっと戻ってきている。	
都市型ホテル（経理担当）	・大型連休にかけての宿泊者数が増えている。	
旅行代理店（経営者）	・ボーナス支給も多くなり、夏休み商戦は大変期待できる。客の早期獲得がカギである。	
タクシー運転手	・昼間の買物客等の利用は減少した感があるが、夜の繁華街、特に都市部などからの乗客の割合が増えている。自動車業界の上昇気流がこのまま続き、タクシー業界も少しずつ上向いていく。	
タクシー運転手	・ボーナスシーズンも始まり、仲間で食事をする機会や買物客の利用も増えると見込める。	
通信会社（企画担当）	・アベノミクスの効果が実態として現れてはいないまでも、マスコミ報道を含めて、雰囲気はまだ良くなっていく気がする。	
通信会社（営業担当）	・前年の動向から見ると、6～7月は増加傾向にある。今年も、ISP関連の販売が今よりも増加する見込みである。	
テーマパーク（職員）	・商圏内の景気感が話題となる際には、楽観的な内容が多く期待ができそうである。	
ゴルフ場（企画担当）	・6月までの予約状況は、前年同月をはるかに超えている。この予約数を見る限りは景気が大きく良くなっている。ゴルフ場は天候、気温に左右される事が多いため予断を許さないが、かなり期待をしている。	
設計事務所（職員）	・事務所は景気とは関係なく定額の給与を支払い、大変であろうと思う。最近の外交など政治の動きは心配であり、戦争になる恐れがあるならば、景気は悪いままでよい。	
住宅販売会社（従業員）	・多少の上向き傾向が見られる。	
住宅販売会社（従業員）	・慎重な人もいるため緩やかに良くなるが、8月には駆け込みの客が増える事から、今の景気であれば期待どおりの上昇となる気がする。外交面でロシアとの協調が良好に進めば、製造業には一層の追い風となり、近隣アジア諸国とも政治的に安定すれば、期待感も更に高まる。	
変わらない	商店街（代表者）	・進物用の商品は売れており、自家用の商品購入にも広がれば、プラスに転じる。
	商店街（代表者）	・この2～3か月の状況は変わらない。法人向けの需要が伸びていないため客単価が上がってこない。
	商店街（代表者）	・身の回りの状況は、消費意欲があまり感じられず、消費活動、景気は停滞しているように思える。景気がこれ以上悪くならないとも思えないが、3か月くらいでは状況が良くなる事はないだろう。
	商店街（代表者）	・夏場に暑くなると、消費は拡大しない。

一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・個人消費が上向くとは、まだまだ感じない。
一般小売店〔電気屋〕 (経営者)	・主力の液晶テレビの販売量は変わらなくても、販売単価が低下しているため、販売高は減少となる。また、他の商品を含めた販売量が増加しても、販売高の増加までは望めない。
一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・前月に引き続き、シルバー世代と若い世代の飲食利用は期待できる。しかし、大幅な増加とはいかない。
一般小売店〔書店〕 (経営者)	・男性客は、所持金が少ない。同性としてこのような状況を見るのは非常に辛い。この状況が少しずつでも変わってくれば、良くなっている事が実感できる。
一般小売店〔生花〕 (経営者)	・厳しい生活はまだ続くと思われる。夏のボーナスまでは変わらない。
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・3か月先も個人の所得上昇は感じられない。それに伴って交友範囲も狭くなっている。自分の事に関する支出以外には、節約が続いている。
一般小売店〔時計〕 (経営者)	・アベノミクスの効果は、一般庶民の所得増加等には見られない。
一般小売店〔自然食品〕 (経営者)	・景気の高揚感といった気分的なものは感じられるが、実質収入が増えない事には、購買にはつながらない。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・先行きの個人消費がどうなるかは、まだ微妙なところがある。
百貨店(企画担当)	・アベノミクスへの期待先行で円安・株高に振れているが、給与のベースアップは、思ったほど多くの企業で追隨していない。この先の景気が回復するか否かは、6～7月に出るボーナスの上昇率によって判断できると感じている。
百貨店(経理担当)	・景気はしばらくの間は続くものと考えているが、現在の水準を更に上げるほどの好材料は見られない。
百貨店(経理担当)	・食品、紳士洋品など前年に比べ良くなっている商品もあるが、全体としては前年並みである。
百貨店(販売担当)	・前年同月比では良かったが、良さが長期的なものになるのか、手ごたえがまだ感じられない。
百貨店(販売担当)	・様々な商品で値上げが増えてきているが、当分の間、景気は簡単には変わらない。
スーパー(店長)	・自動車関連等の回復はあるが、買上1品当たり単価や買上点数等からは、食品消費支出の回復の兆しが見られない。
スーパー(店長)	・円安の影響で色々な物の値上がりや危惧されている。値上がりになって景気が良くなるのか悪くなるのかは、不明である。今後世の中全体に値上がりや浸透し給与も上がれば、もう少し良くなる可能性はある。しかし、消費者は値上げに抵抗があるため、景気が良くなる実感はない。
スーパー(店長)	・可処分所得が増えるとは限らず、今後、消費が急に増えるとは考えにくい。
スーパー(販売促進担当)	・今月は近郊の大型商業施設の開店があり、開店騒ぎが一段落しないと、改善しそうにない。
コンビニ(エリア担当)	・単価の前年同月比は、やや悪化の傾向から顕著に改善傾向であるため、変わらないと判断する。
コンビニ(店長)	・客の動き、買物に対する動向を見ていて、良くなる気がしない。
コンビニ(商品開発担当)	・金融政策による株価上昇を背景に、景気が上向いている風潮はある。しかし、低単価商品へのシフトは続いており、来店客の購入単価は上昇しておらず厳しい。一方、土地柄により大手自動車メーカーの一時金アップから、購買単価上昇や来客数の増加が見込めるため、総じて変わらないと予想する。
衣料品専門店(経営者)	・客の来店によって売上が増減するため、いかに来店してもらうかを考えている。
家電量販店(店員)	・新製品の発表はこれからであるが、画期的な商品が出るという噂もない。
家電量販店(店員)	・物価が先行してどんどん上昇していく。結局は空元気で、実際には良くならない。
乗用車販売店(従業員)	・やや良くなる気はするが、楽観はできない。
乗用車販売店(従業員)	・政権交代後、明らかに景気は良くなっている。それが本物かどうかはまだわからないが、余程の事が無い限り、ここ2～3か月の間でぐっと落ち込む事はない。
乗用車販売店(従業員)	・客との会話では、景気が良くなった実感は持てず、何となく周りがはやし立ててくれるのでそんな気がするという声を多く聞く。気分的なものが強く、今後も続くのかは不安が大きい。

乗用車販売店（経理担当）	・前年はエコカー補助金の復活で販売量も増えたが、今年はないので厳しいと感じる。	
乗用車販売店（営業担当）	・株価は上昇しているが、広く一般には反映されない。給与が上がってくるのかは、見通しづらい。しかし、ムード的には、お金を使いやすくなっている。	
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・近隣に大きなショッピングセンターができて、客がそこはどう流れるかが読めない。	
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は、前年同期比で2.3%増加し、来客数は、0.6%減少となっている。	
高級レストラン（スタッフ）	・夏季賞与の増加など飲食店にとってはプラス要因が期待される。一方で、平成9年の消費税率上げ時のように、その前年から客の支出が貴金属や耐久消費財に向かう可能性があるのでは、楽観はできない。	
一般レストラン（スタッフ）	・アルバイトやパートを募集しても集まりにくくなっているため、他業種を含めて活気付いてきている。	
スナック（経営者）	・株を持っている客との会話では、少し株価が持ち直したと喜ばしい話を耳にしている。今月程度の来客数があればいいと思う。	
スナック（経営者）	・今年のボーナスに期待したいが、消費者は簡単には財布のひもを緩めない。交際費がもう少し使えれば、繁華街も活気が出てくる。急には良くならない。	
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・今後、消費税など税金の上げが具体化してくると、この状態が続くとは思えない。	
観光型ホテル（販売担当）	・企業の利用には特に拍車はかかっておらず、まだ様子見という感じである。3月決算をみて6月の総会の動きに注目したい。決算内容によっては、利用度も中身も濃くなることを期待したい。	
都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断している。	
都市型ホテル（経営者）	・雰囲気としては景気上昇傾向だが、実態の数字の上昇には、まだまだほど遠い。	
旅行代理店（経営者）	・円安で増益の企業が出る分、収益が圧迫される企業もあり、新たな成長産業が出現しない限り、景気が良くなる可能性は少ない。毎年人口が減少するなかで、基本的には消費が増加する要素はなく、輸出拡大か海外からの旅行者や中長期滞在者が増加するしかないが、ここ数か月で増加するとは思えない。	
旅行代理店（経営者）	・アベノミクスの効果で良くなってほしいという期待感はあるが、現実問題として良くなるという確証が、販売面からは得られていない。	
旅行代理店（従業員）	・大手企業の社員は夏のボーナスが期待できるため、旅行需要にも反映されるが、多くの方は中小企業に勤めているため、そのボーナス次第で旅行需要の動きが決まってくる。期待はしているが、難しいかもしれない。	
タクシー運転手	・客からは、景気は変わらないという声の方が多い。2～3か月では変わらない。	
タクシー運転手	・まだまだ良くならない。辛抱する事が定着している。	
テーマパーク（経営企画担当）	・日本経済が上向いている様子であるが、まだ実感できない。もう少し先のように感じる。	
観光名所（案内係）	・現政権に期待している。	
美顔美容室（経営者）	・キープキャンペーンが7月末までであるため、紹介が増える。	
美容室（経営者）	・3月は良くて4月は悪くなっている。これから暑くなりパーマの客も多くなって欲しい。	
美容室（経営者）	・客の話を聞いていると、浮き足だった感じも景気の悪い話も聞かないため、このまま現状維持が続く。	
美容室（経営者）	・景気は良くなっていない。	
住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の関係で、秋まではこのまま続く。しかし材料費が値上がりしているため、先行きはわからない。	
住宅販売会社（従業員）	・客の声からは、住宅建築関連の支出に対しては、仕方なく修繕やリフォームに着手する様子であり、前向きな姿勢を感じられない。	
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・案件は多くなり、仕事には結び付きそうであるが、売上が前年同月を上回るのは厳しい。	
やや悪くなる	スーパー（店員）	・地元では閉店する店が多いが、大型店舗が近くに今年だけでも2店舗オープンする。客の取り合いになり、厳しくなってくる。
	スーパー（販売担当）	・近くにディスカウントショップができて、そちらに客が流れる。

	コンビニ (店長)	・客の高齢化が進み、売上が伸びないうえに、客が亡くなってしまい、販売先が減少している。
	コンビニ (エリア担当)	・景気が回復する期待感を感じるが、単価の高い物は実際には売れない。競争店も増えてくるため、店単位でみると厳しくなる。
	コンビニ (店長)	・競合店の出現により、売上減少から抜け出せない。
	乗用車販売店 (経営者)	・燃料費、食料品等の生活必需品で物価が上昇し一般消費者の出費がかさむ。一方で、給与等の収入は変わらない。
	乗用車販売店 (従業員)	・これからボーナス商戦に向かうが、新車も出ず好材料がないので、しばらくは厳しい状況が続くかもしれない。工場在庫量も減少しているが、こちらはキャンペーンを行うので、ほぼ横ばいの数字でいけそうである。
	その他専門店 [貴金属] (店長)	・政権交代後、来客数が若干伸びてきたものの、デフレ脱却にはまだ時間がかかる。マスコミ報道にあるように、これからの景気に期待する。
	旅行代理店 (従業員)	・ここ最近、鳥インフルエンザに伴うアジア方面の旅行中止や自粛が目立ち始めている。特に団体旅行の中止、延期が発生しており、収入、取扱量の減少は必至である。半島情勢が悪化すると渡航が減り、更に悪化すると思う。
	通信会社 (サービス担当)	・引越しシーズンが終了し、新サービスや料金改定がなければ、申込数も減少し今よりも景気は悪くなる。
	通信会社 (営業担当)	・株価の上昇と並び輸入製品高騰の話題がテレビ等をにぎわしている。資源が少ない日本及び国民の生活向上を考えると、何ら景気向上は期待できない。
	パチンコ店 (経営者)	・業界全体の販売減少傾向が鮮明になっている。
	理美容室 (経営者)	・ガソリン代も高いままで、色々なものが値上がりするため、あまり良くならない。
	その他サービス [介護サービス] (職員)	・円安に伴う原料高による値上げの懸念がある。
	設計事務所 (経営者)	・案件数が更に減少している。その上、設計料の減額も要求される。世間の風潮とは、逆の状態である。
	その他住宅 [室内装飾業] (経営者)	・5月施工予定の見積依頼など、引き合い件数は少ない。
	悪くなる	乗用車販売店 (従業員)
		旅行代理店 (経営者)
		理容室 (経営者)
		・車両販売に関しては、新車投入や改良など増加が見込める要素が全くなく、引き続き厳しい状況が続くと思われる。
		・鳥インフルエンザが日本にも広がったら、人の動きが一層悪くなるのではないかと思う。
		・景気の先行きは見当がつかないが、良くなってほしい。
企業 動向 関連 (東海)	良くなる	—
	やや良くなる	—
	食料品製造業 (経営企画担当)	・3月期決算の発表でも増益となる企業が多く、景気回復基調が気分的にもますます高まり、消費の盛り上がりにつながっていけば良い。
	紙加工品 [段ボール] 製造業 (経営者)	・主要取引先の中国向け生産は伸びないものの、北米向け梱包資材が伸びる傾向にある。ただ、明白な景気の良さは伝わってこない。
	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・有料別冊本の販売が好調である。
	化学工業 (企画担当)	・アベノミクスの効果は、2、3か月程度持続する事が予測される。円安による原材料の高騰で、消費財メーカーでは価格転嫁を余儀なくされる企業が出てきているものの、テレビなどの価格低下は変わらず、デフレ改善には時間がかかりそうである。
	化学工業 (人事担当)	・景気が後退する理由が今のところ見当たらない。近隣アジア諸国の情勢悪化や、テロ、天災など突発的な事が起きなければ、景気は確実に上昇すると思われる。
	窯業・土石製品製造業 (社員)	・当社の最量販製品で生じた問題点を1か月以内に解決し、2か月後以降には、本来の受注量まで戻せる予定である。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・見積依頼がきている。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・自動車メーカー及び関連企業の設備投資が増加の見込みである。
	電気機械器具製造業	・期待感によるもので、決して実体が伴っているとは言えないが、株高による景況感の上昇が、設備投資に拍車をかける気がする。
	電気機械器具製造業 (企画担当)	・円安で輸出競争力が高まってきているうえに、米国の経済状況も安定しているので、輸出企業の業績改善が期待できる。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・オリジナル製品のパーラーチェアの販売見込みがある。
	輸送用機械器具製造業 (総務経理担当)	・円安の影響で輸出自動車台数が増加する。

	建設業（経営者）	・多少の懸念事項はあるが、マンション・戸建売上の堅調な推移やモデルルーム来場者の増加等アベノミクスの効果が着実に現れている。
	輸送業（従業員）	・業種によって格差がある。物流業界では燃料の石油製品の価格が高止まりで運賃への転嫁が難しく、依然として厳しい経営が続くと思われる。景気が好転するとドライバーの採用が難しくなり、懸念材料である。
	輸送業（エリア担当）	・円安で当地域の製造業は活気付いている。
	輸送業（エリア担当）	・通販が急に伸びてきている。
	通信会社（法人営業担当）	・良くなってももらいたいとの願望も含めて、3本の矢の成長戦略の効果に期待する。良くなると、来年4月に消費税増税とはならず、政府の戦略も立たなくなる。政治主導のもと、企業は今までの内部保留を、設備投資や従業員の給与改善にシフトするであろうとの見方が入っている。
	金融業（法人営業担当）	・円安による自動車輸出増を背景に、下請部品メーカーでも受注増加の動きが広がっていくと期待される。
	行政書士	・貨物の動きが安定している。
	会計事務所（職員）	・経済のインフレ傾向を敬遠するかのように、消費でも、早め早めの購入に移行しているようである。高級品、耐久消費財の購買意欲が高まっている。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・今年度については、もともと各社の投資計画があり、たまたま立ち上がりが遅いだけであると思われる。
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注量、販売量ともに増加で推移するとは考えられず、今の状況で推移する。
	金属製品製造業（経営者）	・景気が良くなる期待感はあるが、引き合いは増えておらず、変わらない様相である。
	金属製品製造業（従業員）	・原材料の値上げ圧力が強まると、圧迫要因になりかねない。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・一度値下げした商品の値上げは許容されず、受注量が増えても利益はそれほど増えない。現在の好況が続くかどうかは為替次第であり楽観はできない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・販売量の増加は、一時的な傾向の可能性はある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・まだまだ為替が安定したとは思えず、2～3か月で回復するようにはとても思えない。今後も現状の90円程度が続けば、輸出が再度増加する。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産計画上は、しばらくこの状態で続く。
	建設業（営業担当）	・大手スーパー等で下水道につなぐ割合が上がってくるため、我々の業界にとっては痛い。役所から受けている仕事が下水道関係であるため、業況が変わるかどうかわからないが、少し悪くなると思っている。
	輸送業（経営者）	・国内生産で新規の設備投資が増えているわけではなく、国内の物量が増え続けるとは思えない。大手メーカーからも、足元の需要回復に対する国内設備投資を手控えるよう、仕入先に話があったと聞いている。
	輸送業（エリア担当）	・前月は、荷物の動きが少し良い方向に向いて来たと思ったが、ここに来て動きが止まっているように感じる。良い話も聞こえて来るが、しばらくはこのままで推移していくと思われる。
	輸送業（エリア担当）	・景気が良くなる兆しが報道されているが、1日当たり、1か月当たりの荷物量をみても決して増えていない。实体经济は動いておらず、景気は現状維持である。
	金融業（企画担当）	・個人の投資意欲や消費意欲がおう盛になってきているのは、短期的な株高、円安の影響によるものである。これがより長期に続いていかなければ、本格的な景気回復とは言えない。
	不動産業（経営者）	・中小零細企業は、今回の経済回復が本物かどうか見極めの途中のため、大きくは変化しない。中堅以上の企業では、会計上は増収増益に感じられるが、实体经济はまだ低迷期にありそうである。
	不動産業（管理担当）	・世間で景気が良いと言われているほど、オフィスの需要は動いていない。実際の状況とギャップがある。もうしばらく様子を見ないと、本当に景気が良くなったかはわからない。
	広告代理店（制作担当）	・広告の受注は、定期的なものは今までと変わらない予定であるが、目新しいものが出てこないため、横ばいが続くそうである。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告は2～3%の減少が続き、1人世帯の新聞購読率は、壊滅状態である。
	公認会計士	・経済の雰囲気は良くなってきているが、中小企業の業績が上がる見込みはまだ少ない。

		会計事務所（社会保険労務士）	・4月は昇給の時期であるが、実際に昇給を行った顧問先は少ない。手取りが変わらなければ、消費に回る額もあまり変わらないのではないかと。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・思った以上に円安が進んでいるが、良い事ばかりではない。6～7月には批判も出てくると思う。中小企業では新製品の開発に積極的に取り組み、金融界には是非手助けをしてもらいたい。
やや悪くなる		印刷業（営業担当）	・テレビで大企業が上向きになっていると聞くが、中小企業や周りを見ると、景気は上向きどころが下がっている。マスコミ等で取り上げられているのはごく一部である。まだまだ時間がかかる。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・円安による追い風はあるものの、下期からの受注量の減少を補うには至らない。
		金融業（従業員）	・今までは、先の見通しは悪い方向に向いている話が多かった。しかし、ここ数か月先はある程度読めてきて、生産性も上がりつつある、との声をよく耳にする。
悪くなる		窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工件数が減少している。
		鉄鋼業（経営者）	・4月からの電力、ガソリンや素材の値上げで、最も大きなダメージを直接的に受けているのは中小零細企業である。新規の仕事も少なく、単価を上げようにも、少ない仕事を更に減らす結果になる事が明白である。むしろ、企業努力の名目で値下げを要求する客も多にいる。
雇用関連 (東海)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・安全を見越して参院選の結果待ちをしているが、結果の如何によらず、上向きの方向感がうかがえる。
		職業安定所（職員）	・正社員の求人が増加していくかが、今後の回復の鍵を握る。
やや良くなる		人材派遣会社（社員）	・正社員採用の求人案件が、引き続き増加している。
		人材派遣会社（支店長）	・業務委託へのシフトが引き続き継続しており、受託可否の状況にもよるが、当社にとっては追い風になる。また、契約社員採用後3年が経過し、求職者の登録が20%増加するなど、こうした状況がしばらく続くと予想される。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・株価上昇、為替相場の円安傾向を受け、自動車販売も上向き傾向になると予想する。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・アベノミクスの効果を背景に、個人消費が徐々に上向いてくる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・参院選まではマイナス要因は少ないであろう。したがってそこまでは現状維持かプラスに転じる可能性もあるが、中小企業までは行き渡らないのではないかと。
		職業安定所（職員）	・新規求職者の動向が落ち着くなかで、求人数の増加から求人倍率上昇となり、非正規求人を含めて労働条件が良くなると考えられる。また、医療、福祉分野での新たな求人応募申込が継続すると考えられる。
		職業安定所（職員）	・求人数が増加傾向にある。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	・求人情報誌で求職者を募集しているが、面接を行う前に断ってくるように求職者の姿勢が中途半端な状態である。半年前以上前からこうした状況でなかなか求職者を採れず、この状態は更に続いていく。
		人材派遣会社（営業担当）	・アベノミクスの効果が私たちの実感につながるまでには、もう少し時間がかかると思う。
		職業安定所（職員）	・円安の効果で一部に改善は見られるが、全体として求人が増加するまでにはつながっていない。まだ時間がかかりそうである。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・地域の企業幹部に聞いたところでは、景気の上向き感はないという意見が多い。上向きと感じるのは大手企業に限られるとの声もある。下請企業への取引条件は、依然として厳しいのが実状ではないかと。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数や求職者数の大きな動きとなる兆候は見られない。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・就業に語学が有利とされる業界で、今年度と来年度の採用が見送り若しくは減少となった事により、資格取得希望者が減少している。	
やや悪くなる		人材派遣会社（社員）	・4月の好調な宴会需要の反動で5月はあまり良くない。ゴールデンウィークは特に祭りのために良くないが、後半は持ち直す。
悪くなる		—	—